

す・とうぶだより

10月

令和7年
(2025年)

過去の誌面



畑
隊員



8/16 東里ふれあい祭り

昔と比べて希薄になっている、地域のふれあいは大切です！奈良市東里地区自治協議会発足イベントが開催されました。近畿大学農学部の2人が営むキッチンカー【きときや】がやって来て、丼ものを配布。長ーいそうめん流し。流行りの?猫メイク。動画上映会。東里の事業者やサークルの紹介。東里のことがよくわかる、東里ガイドブック配布。電球交換など地域のお困りごと解決、なんでも相談室。などなど…東里自治連合会長もこの気合いの入れよう！！※ネコではなく王者トラ！です。大学生になって地元を離れている子たちも帰省し、プチ同窓会♪

会場の後片付けをして、最後は冷たく冷やしておいたジュースで至福の一杯!! 小さな子どもから90代まで、進化していく奈良市東里、はじまりのイベントでした! ♡



8/30水間子ども地蔵盆

自分で作った?花束を各自持参で現れた子どもたち ♡ お地藏様にお供えし、みんなで般若心経と地藏菩薩のご真言を唱えました。ご住職がわかりやすく誘導してくださり、お地藏さんや水間の長五郎さんのお話も! 全員のお焼香が終わったら、お待ちかねの! お地藏様と楽しむ会スタート!! お守り、念珠、金魚すくい、ヨーヨーつり、輪投げ、かき氷にフランクフルト、全員に豪華おもちゃが当たる大盛り上がりのビンゴゲーム!! 最後に分けていただいたお供物は、重くて持てないほどのお菓子やジュース! 約20人の子どもたちみんな、生き生きと笑顔あふれる、約2時間の地蔵盆・長五郎会式でした。

最後は皆で手を合わせ、お地藏様に、実行委員会の大人たちにも、ありがとうございます! ご住職や地域の方が教えてくださる、愛と感謝の地蔵盆。♡子どもたちの心や記憶に刻まれたんだろうなあと感じました。

各地域で秋祭り開催!

左記以外にも、各地域ではお祭りが行われます。10月に行われるお祭りを紹介します。

◇10/19(日) 大柳生町秋まつり

みんなでわっしょい ♡ 神輿の担ぎ手を募集中! 神輿を担いで祭りを一緒に盛り上げませんか? (参加費をご用意しています)

【日 時】 10/19(日) 11時~16時

【申込期限】 10/12(日)

【集合場所】 11時に大柳生消防団第2班詰所
(大柳生口バス停前)

申込はこちら→



◇10/19(日) 阪原コスモス祭

毎年大人気! お芋掘り&コスモス摘み ♡ 南明寺特別公開やお餅つきも! 販売後あっという間に完売する枝豆を購入される際は、朝一でお越しいただくことがオススメです。

【日 時】 10/19(日) 9時~15時

【場 所】 阪原町ライスセンター(阪原町818-1)

【問合せ】 平日 93-0513

土日 93-0174 (8時~12時)

◇10/12(日)

長尾神社 (阪原町)

伝統の神事が執り行われます ♡

戸隠神社 (須川町)

ポップコーン・綿菓子を無料提供します ♡

◇10/12(日)・13(月)・祝

八幡神社 (水間町)

旧水間小学校の隣、小高い場所にある眼下に素敵な景色が広がる神社です ♡

◇10/18(土)・19(日)

春日神社 (東鳴川町)

皆さまからの地域のイベント情報提供
随時お待ちしております ♡

★詳細やその他の地域レポートは【地域おこし協力隊】
Facebook・Instagramにて。



Facebook



Instagram

森川
隊員

着付け師 稲葉先生へ取材



日中は厳しい残暑が残るものの、夜は虫の音が聞こえ、秋らしさを感じるようになりました。

さて、先日、月ヶ瀬在住の着付け師、稲葉紀美子先生を訪ねました。稲葉先生は地域のデイサービスや施設を回り、簡単に着付けができる「二部式着物」を用いて、利用者の方々に喜んでいただいています。

この着物を活用するきっかけは、先生ご自身のお嬢様の成人式での経験でした。振袖を着せるのに1時間かかり、「もっと早く簡単に着物を着せられたら」と感じたそうです。

元々、寮母として働いていた稲葉先生。先輩からの「やりたいことがあるなら、ちょっと無理をしてもでも若い時にしたほうがいい」という言葉に背中を押され、働きながら着付けの免許を取得されました。さまざまな方に着付けをするうちに、身体が不自由な方や一人で着られない方にも着物を楽しんでもいただくため、上下に分かれている「二部式着物」にたどり着いたのです。私の目の前で、ものの数分で着物と帯をつけられる稲葉先生。見た目も普通の着物と変わりません。

ある施設で、利用者の方に着付けをしたときのこと。「その方の背筋がスッと伸び、笑顔になったのを見たとき、とても嬉しかった」と話す先生。その喜びを私も分けていただいたような気がして、大変幸せな気持ちになりました。有難うございました。

10月の活動予定 (9/19現在)

- ・SNS配信
- ・活動内容の検討
- ・地域の集まる場の企画 など

祖母との思い出



さて、現在奈良に住んでいる私ですが、これは奈良出身の亡き祖母が導いてくれたと強く感じています。祖母は大正14年生まれで、奈良県北葛城郡広陵町の出身でした。

実家が農家だったため、その苦勞を知っていた祖母は、女学校を出てすぐ小学校の教師になりました。

「戦時中、男の先生はみんな兵隊にとられ、女の教師だけで夜、学校の見回りをした」

「大阪大空襲の時、奈良から大阪の上空が真っ赤に燃えるのが見えた」

「昔は今よりおらからで、飛鳥の石舞台に遠足に行った時、子供たちとあの石によじ登ってお弁当を食べた」

料理をしながら、縫物をしながら、祖母は私に昔の思い出をいつも話してくれました。

私は3歳まで保育園に通わず、祖父母と自宅で過ごしました。「三つ子の魂百まで」と言いますが、今の私はこの時期に形成されたと感じます。何を美しいと感じ、何を好むか。どのような人を敬い、どのような人とは付き合わないか。それらはすべて、この時期に祖母から教わったような気がします。

小学校の教師だった祖母は、私にいつも童謡や唱歌を歌ってくれました。祖母が最も好きだった童謡は「野菊」でした。しかし、これは祖母の口から聞いたものではありません。

祖母が自宅で最後の日々を過ごしていた2021年3月、ある見知らぬ男性から祖母宛に一通の手紙が届きました。そこには、彼が50年ほど前、祖母の教え子だったこと、いつも颯爽と自転車に乗って、「おはよう」と子どもたちに声をかける祖母の姿が印象的だったこと、「これが先生の大好きな歌です」と黒板に大きく「野菊」の歌詞を書いて歌ってくれたことが書かれていました。そして、「もしお元氣であるなら、先生と一緒に「野菊」を歌いたい」とありました。私は大変驚き、男性に連絡をしました。祖母の命が残り少ないことを伝えると、男性はすぐに家まで来てくださり、祖母の枕元と一緒に「野菊」を歌ってくださいました。孫である私は、祖母の最期にこのようなことが起こったことに変な感謝しました。

それから数週間後、「野菊」の歌詞にあるように、気高く清く、祖母は96歳の生涯を終えました。今でも祖母と過ごした日々、私を包み込んでくれた優しさは、私の大きな支えです。